公式記録

令和4年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技 女子の部　決勝　【16】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日時	2022 年 6 月 4 日（土） 13 : 00 キックオフ	会場	三木総合防災公園第２陸上競技場
天候	晴れ　風　弱風　ピッチ　(天然芝)・人工芝・クレー	状態	良好　試合形式　70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原 弘樹	会場主任	平家 義久
記録	鈴木 隆広 ／ 宮脇 加奈	観衆	243 人
主審	中本 早紀	副審１	川嶋 美鈴
副審２	石川 帆菜	第４の審判員	西嶋 咲音

チーム名	kick off				チーム名
日ノ本学園高校	3	0	前半	0	神戸弘陵学園高校
		3	後半	0	
			延前		
			延後		
			PK戦		
選手番号 / ○× 先	PK戦				PK戦 / 選手番号 / 先 ○×

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					久田 優里愛 2年	20	GK	GK	1	重松 あいり 1年					分	
	HT 分				3	古谷 千佳子 3年	19	DF	DF	3	鈴木 葵生 3年					HT 分	
	分					竹内 あゆみ 3年	⑤	DF	DF	11	富倉 光俐 2年					分	
	分			1＊		菅原 眞名 3年	3	DF	DF	5	金 璃央 2年					分	
	分				1	田中 晴菜 3年	2	DF	DF	8	有木 心花 2年					分	
	56 分			1		今井 双葉 2年	22	MF	MF	17	黒木 和香 2年					分	
	分					金谷 愛心 3年	8	MF	MF	6	肴倉 由依 3年	1				61 分	
	分			1*		新谷 楓華 3年	10	MF	MF	⑭	鷲見 優心 2年		1			61 分	
	分			2*		林 織羽 3年	11	MF	MF	7	下原 璃音 3年					分	
	55 分					高城 青空 2年	21	FW	FW	18	藤井 結菜 1年					46 分	
	HT 分				1	中村 優那 3年	25	FW	FW	27	橋本 ひなの 2年					46 分	
	分					赤羽 柚寿 3年	1	GK	GK	21	沖本 梨央 3年					分	
19	分					荻本 里那 3年	4	DF	DF	2	高岡 友佳梨 3年					分	
	分					橋根 悠花 3年	9	DF	DF	15	山本 真衣 3年					分	
	分					田村 來愛 1年	24	DF	DF	20	賀集 志乃 2年					分	14
22	分					藤谷 千里 3年	14	MF	DF	23	新井 香奈 2年					分	
	分					本多 瑠己 2年	15	MF	MF	19	佐治 椋花 1年					分	3
	分					岡林 柚葉 1年	12	FW	FW	16	河本 法紀 2年					分	27
21	分					藤原 良 2年	16	FW	FW	25	兵藤 楓菜 2年					分	6
25	分					高橋 亜優 2年	23	FW	FW	26	中西 美羽 2年					分	18

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
24 分	警	2	田中 晴菜	ラフ	10			5	5	シュート	1	1			2	分				
分					3			3	0	ＧＫ	2	4			6	分				
分					5			2	3	ＣＫ	0	1			1	分				
分					1			0	1	直接ＦＫ	2	1			3	分				
分					2			1	1	間接ＦＫ	0	0			0	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警２

得点経過

［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートＳ

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］
39 分	日ノ本	11	林	1 － 0	中央 ⑪ ～ Ｓ
43 分	日ノ本	10	新谷	2 － 0	左 ⑧ → ⑩ Ｓ
47 分	日ノ本	3	菅原	3 － 0	ＣＫ ⑤ × ③ Ｓ
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【　有馬・県西宮　】　氏名 【　浅野・竹嶋　】

決勝戦にふさわしい清々しい気候の中、4-5-1の日ノ本学園に対し、4-4-2の神戸弘陵という布陣で試合が始まった。試合は序盤から長短のパスを織り交ぜてピッチを幅広く使う日ノ本学園がペースを握り、ボールポゼッションを高めながら神戸弘陵ゴールに迫った。これに対し神戸弘陵は体を張った粘り強い守備を見せ、最後のところで体を寄せきり、日ノ本学園に決定的なシーンを作らせなかった。試合が進むにつれ、ボール際の攻防も激しくなり、前半から見応えのある試合展開だったが、神戸弘陵が守り切り0-0で前半が終了した。後半になると、日ノ本学園はパス回すのテンポを上げて少ないタッチ数でボールを展開し、徐々に神戸弘陵のゴールに迫る回数が増え始め、74分に⑪林のミドルシュートが決まり均衡が破れた。この得点で流れを得た日ノ本学園は左サイド⑧金谷を起点にテンポの良い攻撃を繰り広げ、立て続けに得点を重ね試合を決定づけた。神戸弘陵も前線からプレスをかけショートカウンターを狙ったが最後まで集中を切らさなかった日ノ本学園守備陣を崩しきれず3-0で試合が終了した。技術、戦術、ボール際など多くの要素に置いて決勝戦らしいハイレベルな試合であり、両チームの今後の活躍に大いに期待できる好ゲームであった。

［備考］